

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 ムーミナバード行政郡バルホビ地区農業機材整備計画

本計画では、タジキスタン南部にあるムーミナバード行政郡バルホビ地区に農業機材を整備しました。首都ドゥシャンベ市から南東約 250 km、車で約 3 時間の距離に位置するバルホビ地区は、牧畜と農業が主産業。住民の多くは小麦、干し草、アブラナ、メロン、スイカなどを栽培し生計を立てています。

これまで同地区には適切な農業機材が無く、必要時には、高い使用料を支払い他の地区から機材を借りる以外に方法がありませんでした。多くの農民にとって使用料を捻出することは難しく、収穫のほとんどは手作業で行われていました。そのため収穫が追いつかず、作物の 10% から 20% が収穫されないまま廃棄されることもありました。

今回日本の支援により、トラクター 2 台、トラクター用鋤 2 台、収穫機 1 台、刈り取り機 1 台、梱包機 1 台、トレーラー 2 台、脱穀機 2 台がバルホビ地区農業組合に整備されました。これにより、農作業の大幅な効率化と、生産量・収穫量の増加が期待されます。



供与式に先立ち、パンを用いたタジキスタン伝統の歓迎の挨拶を受けました。



供与式では、ムーミナバード行政郡長、バルホビ地区農業組合代表者から感謝の意が述べられました。



機材保管庫の入口には、タジク語と英語で日本からの支援を示すサインが掲げられています。



供与された機材は、既に 2013 年の収穫期を通して使われ、バルホビ地区の農業の効率化に大きく貢献しました。